

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2008-108419(P2008-108419A)

【公開日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報2008-018

【出願番号】特願2007-295251(P2007-295251)

【国際特許分類】

G 11 B 27/00 (2006.01)

G 11 B 27/034 (2006.01)

H 04 N 5/91 (2006.01)

H 04 N 5/93 (2006.01)

H 04 N 5/85 (2006.01)

【F I】

G 11 B 27/00 D

G 11 B 27/034

H 04 N 5/91 Z

H 04 N 5/93 G

H 04 N 5/93 Z

H 04 N 5/85 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月27日(2009.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多重化されたビデオストリーム及びオーディオストリームを含むデジタルストリームと、アプリケーションと、クリック音として出力するためのサウンドデータとが記録された記録媒体であって、

前記記録媒体には前記デジタルストリーム上の再生開始時刻及び再生終了時刻の組みを示すことにより、再生経路を規定する再生経路情報と、実行されるアプリケーションが選択可能な再生経路情報を示す情報を含む管理情報と、前記再生経路情報に対応するフラグとが更に記録されており、

前記フラグは、

前記実行されるアプリケーションに対するユーザ操作に応じたサウンドデータを用いたクリック音の出力と、前記実行されるアプリケーションにより選択された再生経路情報に規定された再生経路に示されたデジタルストリームの音声出力とをミキシングするか否かを示す

ことを特徴とする記録媒体。

【請求項2】

アプリケーションを実行すると共に、デジタルストリームを再生する再生装置であって、

前記デジタルストリーム上の再生開始時刻及び再生終了時刻の組みを示すことにより、再生経路を規定する再生経路情報と、実行されるアプリケーションが選択可能な再生経路情報を示す情報を含む管理情報と、前記再生経路情報に対応するフラグとを記録媒体か

ら読み出す読出手段と、

前記記録媒体に記録されたアプリケーションを実行するプラットフォーム部と、

前記アプリケーションの実行中に、前記アプリケーションが選択した再生経路情報に規定された再生経路に示されるデジタルストリームの再生を実行することにより、映像出力及び音声出力を行う再生制御エンジン部と、

前記アプリケーションが選択した再生経路情報に対応したフラグがオンである場合、前記実行中のアプリケーションに対するユーザ操作に応じたサウンドデータを用いたクリック音の出力と、前記デジタルストリームの音声出力とのミキシングを実行し、前記アプリケーションが選択した再生経路情報に対応したフラグがオフである場合、当該ミキシングを実行しないミキシング部と、

を備える

ことを特徴とする再生装置。

【請求項3】

前記プラットフォーム部は、当該アプリケーションの実行中に選択可能な再生経路情報を当該アプリケーションに通知し、

前記再生制御エンジン部による再生は、前記実行中のアプリケーションにより選択された再生経路情報に規定された再生経路に示されるデジタルストリームの再生を行なうことである

ことを特徴とする請求項2記載の再生装置。

【請求項4】

アプリケーションを実行すると共に、デジタルストリームを再生する再生方法であって、

前記デジタルストリーム上の再生開始時刻及び再生終了時刻の組みを示すことにより、再生経路を規定する再生経路情報と、実行されるアプリケーションが選択可能な再生経路情報を示す情報を含む管理情報と、前記再生経路情報に対応するフラグとを記録媒体から読み出す読出手段と、

前記記録媒体に記録されたアプリケーションを実行する実行ステップと、

前記アプリケーションの実行中に、前記アプリケーションが選択した再生経路情報に規定された再生経路に示されるデジタルストリームの再生を実行することにより、映像出力及び音声出力を行う再生制御ステップと、

前記アプリケーションが選択した再生経路情報に対応したフラグがオンである場合、前記実行中のアプリケーションに対するユーザ操作に応じたサウンドデータを用いたクリック音の出力と、前記デジタルストリームの音声出力とのミキシングを実行し、前記アプリケーションが選択した再生経路情報に対応したフラグがオフである場合、当該ミキシングを実行しないミキシングステップとを含む

再生方法。

【請求項5】

前記実行ステップは、当該アプリケーションの実行中に選択可能な再生経路情報を当該アプリケーションに通知し、

前記再生制御ステップによる再生は、前記実行中のアプリケーションにより選択された再生経路情報に規定された再生経路に示されるデジタルストリームの再生を行なうことである

ことを特徴とする請求項4記載の再生方法。

【請求項6】

アプリケーションの実行を管理すると共に、デジタルストリームの再生をコンピュータに実行させる管理プログラムであって、

前記デジタルストリーム上の再生開始時刻及び再生終了時刻の組みを示すことにより、再生経路を規定する再生経路情報と、実行されるアプリケーションが選択可能な再生経路情報を示す情報を含む管理情報と、前記再生経路情報に対応するフラグとを記録媒体から読み出す読出手段と、

前記記録媒体に記録されたアプリケーションを実行する実行ステップと、

前記アプリケーションの実行中に、前記アプリケーションが選択した再生経路情報に規定された再生経路に示されるデジタルストリームの再生を実行することにより、映像出力及び音声出力を行う再生制御ステップと、

前記アプリケーションが選択した再生経路情報に対応したフラグがオンである場合、前記実行中のアプリケーションに対するユーザ操作に応じたサウンドデータを用いたクリック音の出力と、前記デジタルストリームの音声出力とのミキシングを実行し、前記アプリケーションが選択した再生経路情報に対応したフラグがオフである場合、当該ミキシングを実行しないミキシングステップと

をコンピュータに実行させる管理プログラム。

【請求項 7】

前記実行ステップは、当該アプリケーションの実行中に選択可能な再生経路情報を当該アプリケーションに通知し、

前記再生制御ステップによる再生は、前記実行中のアプリケーションにより選択された再生経路情報に規定された再生経路に示されるデジタルストリームの再生を行なうことである

ことを特徴とする請求項6記載の管理プログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は上述した構成を有しているので、実行中のアプリケーションに対するユーザ操作に応じたサウンドデータを用いたクリック音の出力と、実行中のアプリケーションにより選択された再生経路情報に規定された再生経路に示されたデジタルストリームの音声出力とをミキシングするか否かの調整を制作者側の意図に沿ったものとすることが可能となる。これは例えばマルチチャネルでの音声出力を意図するような再生制御の実行時にはサウンドミキシングを無効化しておき、マルチチャネルでの音声出力を意図しないような再生制御の実行時にはサウンドミキシングを有効化しておくことができるようになり、例えば映画の制作スタジオは、マルチチャネルでの再生を意図している場合は、クリック音を禁止し、代わりにクリック音での再生を意図している場合は、代わりにマルチチャネルによる音声出力を禁止するという調整が可能になる。